

高井たかし後援会定期総会議事録

開催日時 2020年7月18日(土)14:00~16:00

開催場所 ピュアリティまきび会議室

出席会員 約90名

<進行>

1) 開会(下山後援会幹事長)

「コロナ禍にあつて、また緊急事態宣言によって高井議員が東京で足止めにあつていたこともあり、総会が2か月ずれ込んだことを報告」。

2) 開会あいさつ(尾崎 博後援会会長)

「高井議員が行つた軽率な行動によって、次期衆院選で相手候補を打ち負かす絶好の機会を逸したことは慙愧に堪えない。このまま後援会長を続けていいものかどうかを迷うほどだ。今日の総会で会員の皆さんのご意見も伺いたい」。

3) 2019年活動報告・決算報告(井上秘書)

*別稿

*新年度事業計画(案)などは今回総会の性質上用意していない。

4) 顛末報告及び謝罪(高井崇志議員)

「緊急事態宣言直後の4月9日。コンタクトレンズ調整のため新宿歌舞伎町にある行きつけの眼鏡店を訪れた。その帰りに軽率にも、呼び込みの声に誘われて店内に入った。なぜその店にフラフラと入つたのか、自分でもわからない。この事実は、どんな言葉も許されない。私を支援してくださつた皆様方にどう告げればよいか、悩み続けていた。ただただお詫びを申し上げるしかない。このことで党からは除籍処分を受けた。

その後は無所属で、コロナ禍や災害による補償制度の活用などについて、相談に乗り、各省庁との連絡、交渉などに当たっている。

国会議員としてやり残したこともあり、今後も活動を続ける希望を持っている」。

5) 質疑応答(一人一問形式)

*男性

「週刊誌がなぜ高井の名前を知つたのか疑問。国会議員として繁華街で働く人の状況を知りたいと思うことは、ごく当たり前のこと。名刺を出して真正面からインタビューすればよかつたではないか」。

*女性

「国会議員は、より高い倫理観が必要。国会議員としての活動を続けたいと希望していると述べたが、何をしたいのか、具体的に述べてほしい」。

*男性

「ご両親、奥さん、江田五月さんらがどれだけ泣いたり、心配したか。次の衆院選はないと思ふべき」。

*男性

「人は誰でも間違いを犯す。反省していることも分かった。高井議員は国会でも質問回数は一番多く、政治的力量もある。今、立憲と国民が解党して新党を作る動きがあると聞いている。その場合、新党に入る機会はあるのか」。

<高井議員回答>

*名前が知れたのは、迂闊にも接客の女性に国会議員とは言っていないが、自分の名前を告げたからだと思う。ご指摘のように正面切ってインタビューしたほうが良かったかもしれないが、そうしていない。

*自民党政権が長く続くことで格差が広がり、社会的歪みが増大しており、自分の力で何かできないかと思ったのが出発点。公務員になり、政治を志した。経団連の思惑で、経済発展のみ優先されて環境が破壊され、その延長線上に原発がある。やり残したことは、こうした現状を質し、地球と共生できる社会実現のための努力。

*憲法改正をもくろむ自民党政権に対して野党は結集する必要がある。そのためにも無所属では力が発揮できない。

今の段階で新党に入れるかどうかは全くわからない。

<再度質問>

*男性

「高井、バカヤローと大声で言いたい。反省して出直してほしい。これからも応援は続ける」。

*女性

「高井さんが政界を目指した 36 歳の時から応援している。杉本彩さんが来岡した時も参加した。奥さんと共に頑張してほしい」。

*男性

「今回の不祥事は相手候補に塩を送ったようなもの。勝者が政界を支配する。相手を倒さねばならない」。

*男性

「自民党に対する一票は、何も考えない票が多いのに対して高井さんへ入れる一票は様々なことを考える票だ。一票の重みが違うことを認識して政治活動を続けてほしい」。

<高井議員>

*今日の総会にこれほど多くの会員の方が参加いただけるとは思っていなかった。厳しいご意見を覚悟していた。応援の輪を広げていただいた会員の方々にご迷惑をおかけしたことを再度心からお詫びしたい。

6) 閉会挨拶（清水直樹後援会副会長）

*お叱りと励ましの貴重なご意見に感謝。ありがとうございますと申し上げ

たい」。

7) 閉会

＊今回のご意見とアンケート用紙に書いていただいたご意見を参考に、後援会の今後の活動について、幹事会を開いて検討し、郵便または臨時総会を開くなど何らかの補法で会員の皆様に報告する」。

以上

<アンケート用紙によるご意見>

約 90 名の出席の内回答は 34 通。27 通は後援会と高井議員の政治活動継続を求める意見で、7 通は「信頼を裏切った高井議員の責任を追及する」。「後援会はいったん解散すべき」。

「議員になることは簡単なことではない。辞職して出直すべきだ」。「後援会の体質が古い。会長、副会長、幹事長は交代して若手中心の執行部で、具体的な戦略を立てるべきだ」。

などの意見が書かれていた。